

分科会 2	持続可能な社会は消費者の自立から～環境教育と消費者教育の接点～
日時	2月15日（日）9:30～11:45
趣旨	<p>地球温暖化問題が深刻化している状況で、行政やNPOだけでなく、市民からの理解と行動が求められています。気候ネットワークはこれまで、子どもから大人まで、省エネ・エコライフ・自然エネルギー等に関する環境教育を行ってきましたが、一層拡充していく必要があります。</p> <p>同時に、社会の課題が多様化していることに伴い、環境教育と消費者教育の繋がりも、強くなっています。「消費者教育の推進に関する法律」が施行され、消費者が持続可能な社会へ積極的に参加する「消費者市民社会」の構築が求められています。</p> <p>今回は、消費者教育と環境教育の関係者が集まり、最新の動向や共通の課題、先進的な教育事例について話し合い、これからの可能性について新たな連携やネットワークの構築につなげ、温暖化防止活動の活性化や持続可能な社会づくりにつながることを目指します。</p>
内容	<p>★基調講演「消費者教育の中の環境教育」 大本久美子さん（大阪教育大学）</p> <p>★消費者に繋がる環境教育の事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松宮 秀典さん（滋賀グリーン購入ネットワーク（旭化成住工株式会社 本社滋賀工場）） 企業で環境の取り組みを幅広く行っている。 ・ 岸田蘭子さん（全国小学校家庭科教育研究会副会長・高倉小学校校長） 家庭科研究会で、小学校での消費者教育の取り組みに関わっている。 ・ 大関はるかさん（ひのでやエコライフ研究所） 暮らしの一部として環境配慮型の生活を送り、大学生への省エネの働きかけなども行っている。 <p>★意見交換：西澤浩美（京都府地球温暖化防止活動推進センター） 坂部安希（環境市民） 西山尚幸（コンシューマーズ京都） 岩松洋（京エコロジーセンター） コーディネーター：原強（コンシューマーズ京都）</p>
主催	気候ネットワーク
協力	京都府地球温暖化防止活動推進センター、環境市民、コンシューマーズ京都、京エコロジーセンター